



<校訓>
自主
創造
協力

令和3年4月27日(火)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する
生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、
みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集
団生活における規律とマナー

ここまで来た！科学の進歩！～調べてみよう～

世界最高水準の人工光合成に成功 トヨタ系、植物上回る効率

今年度最初の代議・専門委員会がありました！

22日(木)代議・専門委員会が開かれました。1年生にとっては、最初の生徒会活動です。それぞれの教室に分かれて、委員長、副委員長から仕事内容や今月の目標、具体策などの説明がありました。代議員、専門委員は生徒会役員と学級を結ぶパイプ役であると同時に、学級での取組の中心となります。一人一人が自覚をもち、よりよい学級、学校づくりにかかわっていきましょう。

中学校での生徒会活動は、生徒が自発的、自治的活動を行なう機会であり、また異学年との交流を深める場として位置づけられています。学校の全生徒を組織する生徒会で、生徒は一人一人の役割に活動意欲をもち、創意工夫しながら社会生活の基盤を培います。

中学校学習指導要領において生徒会活動は、集団の一員として協力し充実した学校生活に主体的に関わる能力育成を目標とする「特別活動」のひとつとして設定されています。そして、生徒会活動の目標については、中学校学習指導要領で以下のように示されています。「生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてより良い学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。」

生徒会は全校生徒が会員であり、生徒による生徒のための活動組織です。生徒会執行部は、役員選挙によって選ばれた生徒が運営します。その本部が指揮を執り、各種委員会と各学級が連携しながら、学校内での自分たちの生活の充実や学校生活の改善、向上のために、自発的に自治的活動を行なうのが生徒会活動です。

生徒会活動は、より良い学校生活づくりのために、生徒一人ひとりが生徒会組織の一員としての自覚と責任をもつことが望ましいとされています。

代議・専門委員としての生徒会へ参加することは、異学年の生徒と交流できる側面があり、生徒は役割分担による責任遂行を通して学級活動とはまた違った充実感や存在感が実感できます。こうした生徒が主体となる活動が盛んに行なわれることで、活気ある学校づくりやより良い校風づくりが期待できます。

第1号式辞の中で尾倉中が小倉中となっていました。お詫びして訂正いたします。